

天理医療大学医療学部臨床検査学科

松尾 収 二*

天理医療大学は平成 23 年 10 月に文科省の認可を頂き、平成 24 年 4 月 3 日に多くの来賓をお迎えして入学式と開学のセレモニーが行われました。法人化、大学の設立準備に約 2 年をかけ、ようやく開設にこぎ着けました。この誌面をお借りしてご紹介させていただきます。

当大学は奈良県天理市(奈良市の南に位置し人口約 75,000 人)にあります。運営は学校法人天理よろづ相談所学園であり、その設立母体は公益財団法人天理よろづ相談所です。天理よろづ相談所には昭和 42 年より天理高等看護学院(現在は天理看護学院)および天理衛生検査技師学校(現在は天理医学技術学校)が設置され、多くの看護師や臨床検査技師を世に送り出して来ましたが、少子化や医療の高度化に併せて 4 年制の大学へと移行することになったものです。両校の良き伝統を引き継ぎ、さらなるレベルの向上をめざしています。両校は平成 26 年 3 月をもって閉校となります。現在は同じ学舎に 3 校が併存しています。

当大学は、医療学部のみで 1 学年の定員は看護学科 70 名および臨床検査学科 30 名です。初年度はそれぞれ 75 名および 31 名の計 106 名が入学してきました。臨床検査学科 31 名のうち男性は 17 名、女性は 14 名で、出身地は多くは近畿圏で、数名が近畿圏以外です。

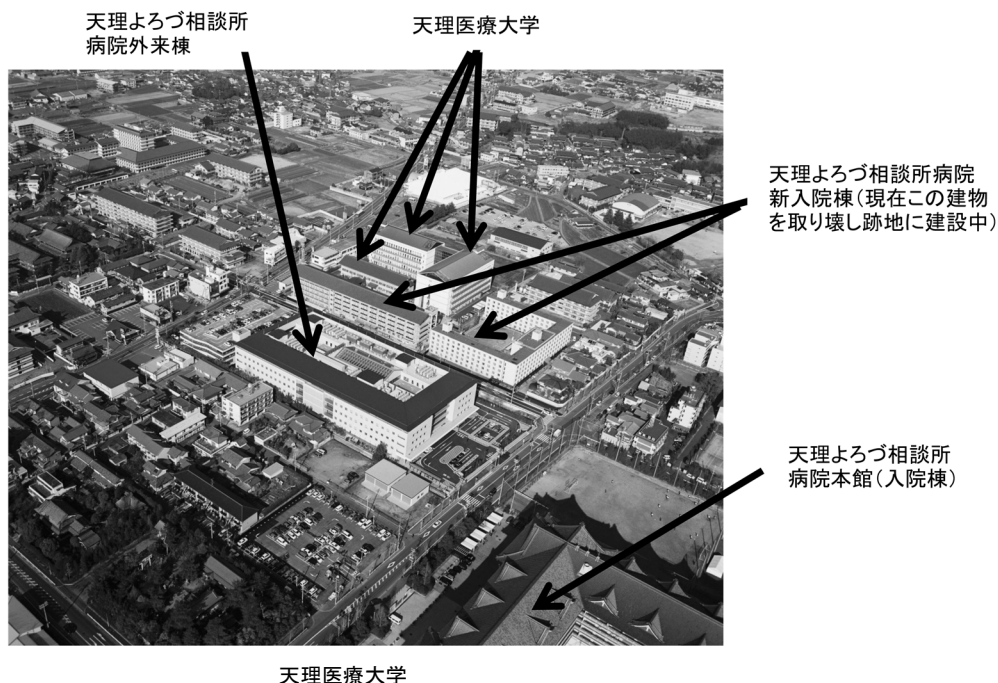
臨床検査学科教員の陣容は、教授 6、准教授 3、講師 2、助教 2、助手 1 および特任講師 1 名の計 15 名です。最終的に助手 2 名を加え合計 17 名を

予定しています。医療職・資格については臨床検査技師 12、医師 2 および薬剤師 1 名で、臨床検査技師 12 名中 10 名は 5 年以上の現場経験があります。また助教以上教員 13 名中 12 名が学位(博士)取得者です。残り 1 名は学位取得に向けて頑張っています。教育経験が豊富な教員は少ないですが、現場経験が豊富で研究能力を備えており、かつ宴会が好きで明るく、誇りに思うスタッフ陣です。守備範囲からみたとき、一応ほぼすべての分野の専門家がいますが、大学教員だけで授業すべてをまかなうことができないため、天理よろづ相談所病院を中心に近隣から非常勤講師として招聘し協力頂いています。

当大学のモットー・教育理念は「人に尽くすことを自らのよろこびとする」という、ひのきしん(天理教の教えで、奉仕に近い言葉)の心です。この理念のもと、高い教養と専門的能力を培い、自ら学ぶ学習態度を修得し、自律と協働、すなわち、人に対する深い愛情と自分を律する謙虚な心、そして他者との関わりを大切にす態度を持った医療人を育てることを目標としています。専門学校の学生が先輩として勉強、国家試験、就職面だけでなく、挨拶、掃除等の躰の面も大変良い手本を示してくれるので、大変助かっています。これらの姿勢は継承していきたいと考えています。

カリキュラムについて、1 回生はいわゆる教養科目が主ですが、解剖、病態生理、医療概論などの医学・医療の基礎科目の他、臨床検査の専門科

*医療学部臨床検査学科 shuji-m@tenriyoroze-u.ac.jp



天理医療大学

目も少しづつ学びはじめます。1回生前期の基礎実習で、定量分析、形態観察、採血など検査の基本に触れ、また病院見学を行って臨床検査技師、医療人になるというモチベーションをしっかりと持たせる試みを行っています。看護学科と臨床検査学科の学生と一緒に学ぶ科目も講義だけでなく、グループ演習、実習等多くあり、卒業後の多職種との連携の一助になればと考えています。臨床検査専門科目は、遺伝子・分子生物学的検査はもちろんですが、細胞培養、抗体作製、分離分析といった基本的技術を経験させることで、将来予想されるバイオサイエンスなどの臨床検査への拡がりに対応しておきたいと考えています。また検査データの読み方(症例解析含む)、検査管理等も4回生時に予定しています。卒業研究についても天理よろづ相談所病院の協力を得ながら行う予定です。これまでの私の経験から、異常値の解析を行うためには検査データの読みの深さと解析技術が必要になります。技と心の両方がないと一歩が踏み出せないことを強く感じてきました。

臨地実習について、天理よろづ相談所病院1カ

所で行います。3回生の後期に10単位を組んでおり、これから病院と話し合いに入る予定です。天理よろづ相談所病院には多くの教育熱心なスタッフがおり学生を大いに鍛えて欲しいと願っています。

大学開学直後は落ち着きがなく、ぎこちなく過ぎていきましたが、夏休みを終えて後期になった頃より多少落ち着き、学生も大学生らしくなっていると感じています。この春には新たな学生を迎え、2回生らしく成長してくれるものと期待しています。卒業生が出る3年後が大学の完成の年であり、今は学生を含め皆で協力してつくっている最中です。所帯は小さくても大学として準備すべきこと、やるべきことは同じです。偉そうに紹介しましたが、足りない部分もたくさんあり、苦勞もたくさんしています。しかし、学生も教職員も誇りの持てる大学にするため頑張っています。その支えは学生の成長であり、教員の成長、活躍です。本協議会会員の先生方のご指導を頂きながら天理医療大学の歴史をつかっていきたいと思っています。よろしくお願い致します。